

議題 「楽しい修学旅行をより充実させよう。」 (学級活動(1) ア学級や学校における生活上の諸問題の解決)

1 目指す児童の姿と子どもに付けさせたい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ○ みんなの意見を深め、よさを認め合いながら合意形成する力を付けたい。 ○ 決まったことに創意工夫をしながら取り組む力をつけたい。 		
協働性	主体性	創造性
<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰のどんな意見でも大切に話し合う。 ○ 自分もみんなも楽しくできたこと実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見を積極的に出す。 ○ 自分の役割に責任をもって取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しいアイデアや工夫を考え出す。



3 評価規準			
観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	<p>みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。</p> <p>合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。</p>	<p>楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。</p>	<p>楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。</p>
目指す児童の姿	<p>役割分担や協力することの意義を理解している。修学旅行を成功させる行動の仕方を身に付けている</p>	<p>よりよい学級や学校生活づくりに向けて考え判断し、多様な意見を生かして合意形成を図り、建設的に話し合っている。</p>	<p>修学旅行に向けて主体的に話し合い、他者と協働しながら、積極的に参画して創意工夫しようとしている。</p>

2 題材について	
(1) 児童の姿	<p>本学級の児童は、低学年の頃から自分たちで進める「学級会」を経験しており、司会グループの役割や動き、みんなで決定したことを実践することの意義や方法について理解することができている。</p> <p>しかし、学級の多くの児童が自分の考えを伝えることに苦手意識をもっている。発表に対しても、積極的とは言い難い状況にある。語彙力の少なさから、短い言葉での発言に留まっている。自分の考えに理由や根拠を付けて意見を述べたり、友達の意見に繋げたりしての発言は、まだまだできにくい。</p>
(2) 題材設定の理由	<p>本議題は、「修学旅行で楽しい思い出をつくりたい。」「学級の絆をより深めていきたい。」という児童の願いや思いを議題化したものである。修学旅行を通して観光地の歴史や文化を学ぶとともに、学年の人間関係を築きながら、自分たちの力でよりよい学校生活をつくっていかうとする態度を養っていきたい。</p>
(3) 指導にあたって	<p>事前の活動では、「自分以外のみんなのために」という相手意識と「楽しませる」、「より仲を深める」という目的意識を明確にし、本議題に対して必要感をもって取り組めるようにする。</p> <p>本時の活動では、提案理由を確認し、話し合いで意識したいキーワード(提案理由にある言葉)を確認することで、誰のために、何のために話し合うのかをとらえ、充実した話し合いになるようにする。</p> <p>事後の活動では、修学旅行に向けて全員で役割を分担し、協力して取り組むことで、自分たちで計画・準備する楽しさや充実感を味わえるようにしたい。</p>

4 指導と評価の計画

